

竹林景観ネットワーク 第 29 回研究集会

日時：2022 年 8 月 28 日(日)

実施方法：Zoom を利用したオンライン形式で実施

主催：竹林景観ネットワーク

■ 総会

日時：2022 年 8 月 28 日(日)14:00～14:30

実施方法：Zoom を利用したオンライン形式で実施

■ 研究発表会

「タケの開花記録の収集—市民参加型調査に向けて—」

日時：2022 年 8 月 28 日(日)14:30～16:00

参加費：無料

○プログラム

鈴木重雄（駒澤大）：市民参加型 GIS による生態現象記録収集の課題

小林慧人（森林総合研究所関西支所）：タケ類の開花（竹の花）情報をどのようにして集める？

河合洋人（NPO 法人どんぐりネットワーク）：タケの開花地の Google マップを用いた把握
質疑・応答

【参加にあたって】

- ・参加のためには、動画を連続して視聴可能な安定したインターネット環境と、メールアドレス、パソコンもしくはタブレット端末等が必要になります。
- ・利用する Zoom は、簡単なインストール作業により無料でご利用いただけます。

■ 懇親会

日時：2022 年 8 月 28 日(日)17:30～19:00

実施方法：Zoom を利用したオンライン形式で実施

「タケの開花記録の収集—市民参加型調査に向けて—」

市民参加型 GIS による生態現象記録収集の課題

鈴木重雄（駒澤大）

生態現象の空間的な広がり把握の際に市民参加型の生態調査が行われている。最近では web-GIS も利用した情報収集も行われているものの、多くの課題も有している。タケの開花情報の収集にあたり、その課題を整理したい。

タケ類の開花（竹の花）情報をどのようにして集める？

小林慧人（森林総合研究所関西支所）

明治後期以来の一斉開花期を迎えたマダケ属ハチクをはじめ、タケ亜科植物の開花が各地で散見される。研究がなかなか進みにくいタケの開花研究を今後各地で円滑に進め、また次世代へ研究のバトンを受け継ぐためにも、今のうちから地道に開花情報を収集し、蓄積・共有・公開できる体制を整えておくことが重要と考えられる。竹林景観ネットワークでは、2018年9月に、HP上に「タケ類の開花情報」のページを開設し、発表者と久本洋子氏を中心に有志の研究関係者限定で Google Map を用いて開花情報を登録することを始めている。2022年8月までに1000件以上の情報を登録するに至っている。今回は、情報の多くを集めている発表者から、開花情報の収集方法について一般の方にも分かるよう優しく説明をしてみたい。

タケの開花地の Google マップを用いた把握

河合洋人（どんぐりネットワーク/香川大学農学部）

タケの開花地を把握するためには現地調査が最も有効であるが時間と労力を要する。一方で Google マップや Google Earth 等に使われている空中写真から把握することができれば、可能性のある開花地の把握や開花後の動態追跡が可能となる。

本セッションでは空中写真の目視判読による開花地把握について解説し、未経験者や初心者に向けた開花地判読フローチャート作成についても紹介するとともに、衛星画像を用いた解析の可能性と一般向けにも活用が可能と思われる衛星画像と解析環境について紹介する。